

学習プログラム開発 1

特別支援学校における取組



特別支援学校における取組

千葉県立特別支援学校市川大野高等学園

研究のポイント

学校を卒業した障害者が、社会で自立して生きる上で必要な学びのニーズを探るため、同窓会員対象のアンケート調査を行い、地域と連携した生涯学習講座を実施した。同時に、卒業生、保護者、職員、企業を対象にしたアンケート調査も行い、得られた結果をもとに多様なニーズを分析するなどして、学習プログラムの案を作成した。

■学校の概要 <http://www.chiba-c.ed.jp/ichikawaono-sh/>

知的障害のある生徒の社会的・職業的自立を図ることを目的とし、千葉県で2校目の専門学科を置く高等部単独の特別支援学校として、千葉縣市川市に平成24年4月に開校した。

職業に関する専門学科として、園芸技術科、工業技術科、生活デザイン科、流通サービス科の4つがあり、各学科24名、1学年96名の定員となっている。4つの専門学科はさらに9つのコースに分かれ、それぞれが本物のものづくりやサービスを目指し、実践を積み重ねている。「本物の働く力」「確かな生きる力」「地域とともに」「豊かな学校生活」をキーワードとして、将来の社会的・職業的自立を目指し、働く生活に必要な基礎・基本（関心・意欲・態度・体力・知識）を育み、豊かな生活を送れる人材の育成を図っている。

■研究課題

学校卒業後の障害者が、学校から社会への移行期、人生のライフステージにおいて、必要となる学びを明らかにし、具体的な学習プログラムや実施体制等について考察する。

■研究の目的と方法

【目的】

学校卒業後の障害者の学びのニーズについて明らかにし、卒業後の学びの場として生涯学習講座を実施し、卒業生の生涯にわたる学びの充実や社会生活への移行を支援する。

【方法】

- 卒業生、卒業生保護者、職員、卒業生を雇用している企業等へ「卒業後の学びに関するアンケート」を実施し、実態把握を行う。
- 卒業生対象の生涯学習を行っている先進校の実践を学ぶ。
- 生涯学習講座を実施する。
- 広域同窓会連絡協議会を設置し、卒業生に関係のある機関等と意見交換を行う。
- アンケート結果を分析し、学習プログラムを検討する。

■研究概要

【主な実践】

I アンケート調査（同窓会員、卒業生、保護者、企業、職員）

- 卒業生向けの生涯学習講座を実施するため、どのようなニーズがあるか同窓会員を対象に「生涯学習に係わるアンケート」を実施した。
- 障害者が職場で安定して働いたり、社会で自立した生活を送ったりするために、どのような支援のニーズがあるかを把握するため、卒業生、保護者、企業、職員に「学校卒業後の障害者の学びに関するアンケート」を実施した。

II 生涯学習講座の実施

- 同窓会員のアンケート結果を受け、スポーツ、ストレッチ、紅茶の講座など卒業後の学びの充実につながる内容の4講座を実施した。講師は地元自治会、公民館、市川市ボランティア、地域のスポーツクラブなど地域の人材を活用した。

III 先進校の視察

- 6月に職員で東京都立志村学園の視察を行った。志村学園が行っている卒業生向けの講座内容や実施時期について知ることができた。
- 1月には東京都立あきる野学園内でPTAが中心となり、地域と連携して行っている講座「あきるのクラブ」の視察を行った。本校職員以外に、本校親の会、同窓会の役員、教育委員会指導主事なども同行し、先進的な取組を見学することができた。

IV 広域同窓会連絡協議会の設置

- 地域や特別支援学校、卒業生に関わる関係機関・関係者で集まり、意見交換を行った。

V 地域の講座について情報提供

- 地域とつながるきっかけとなるよう、地域で実施している講座やイベントの情報を一覧にしたプリントを学園祭で卒業生に配付し、説明を行った。

【成果】

I ニーズの把握

- アンケートの結果、卒業生、保護者、職員、企業のそれぞれの立場で異なるニーズがあることを知ることができた。

II 地域とのつながり

- 地域とのパートナーシップを大切にした生涯学習講座が実施できた。
- 講座修了後、テニス講座の講師が定期的に本校の部活動を指導して下さることになり、在校生の教育活動の充実にもつながった。

III 学習プログラムの作成

- 4者の異なるニーズを分析し、「リフレッシュ」「ライフプラン」「社会生活」「豊かな人生」をテーマとした具体的な講座内容の一覧（学習プログラムの案）を作成することができた。

【次年度に向けて】～「仲間と学ぶ、楽しむ、つながる」をキーワードに～

- 他機関や地域との連携による「学ぶ」プログラムの充実を図る。
- 卒業後も仲間と「楽しむ」学習プログラムの充実を図るとともに、地域資源の情報収集、情報提供、活用方法の相談にのるなど、「地域へつなぐ」取組を行う。
- 在学中から地域資源を知り、地域へ「つながる」ための学習を検討・実施する。

添付資料

- 特別支援学校広域同窓会連絡協議会 会議資料（第1回～第3回会議）

特別支援学校広域同窓会連絡協議会 第1回会議

- 1 日 時 平成30年8月24日（金） 午前9時から
- 2 場 所 千葉県立特別支援学校市川大野高等学園 図書室
- 3 次 第
 - (1) 開会
 - (2) 委員紹介
 - (3) 主催者挨拶
 - (4) 内容
 - ア 事業説明 文部科学省の実践研究事業について
 - イ 議事1 特別支援学校広域同窓会連絡協議会の取組について
 - ウ 議事2 その他
 - (5) 連絡
 - (6) 閉会
- 4 配付資料
 - 資 料 1：特別支援学校広域同窓会連絡協議会委員名簿
 - 資 料 2：「障害者の生涯を通じた多様な学習活動の充実について」
(文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課障害者学習支援推進室)
 - 資 料 3：学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業の
概要について
 - 資 料 4：特別支援学校広域同窓会連絡協議会の取組及び今後の予定について

資料 1

特別支援学校広域同窓会連絡協議会 委員名簿

No	氏 名	所 属 等
1	岡田 哲也	千葉県立特別支援学校流山高等学園 校長
2	佐藤 敦	障害者就業・生活支援センター ビック・ハート柏 主任
3	田中 均宜	千葉県立特別支援学校市川大野高等学園 校長
4	西村 拓士	障害者就業・生活支援センター いちされん センター長
5	向野 光	川村学園女子大学 教授
6	渡邊 昌夫	千葉県立特別支援学校市川大野高等学園 初代校長

【五十音順 敬称略】

【資料2】 本冊子12～27ページ

障害者の生涯を通じた学びの充実のための
コンソーシアム 第1回会議 参考資料1 参照

【資料3】 本冊子7～8ページ 参照

障害者の生涯を通じた学びの充実のための
コンソーシアム 第1回会議 資料3 参照

【資料4】 省略

特別支援学校広域同窓会連絡協議会 第2回会議

1 日 時 平成30年11月13日(火) 午前10時から

2 場 所 千葉県立特別支援学校市川大野高等学園 応接室

3 次 第

(1) 開会

(2) 主催者挨拶

(3) 内容

ア 議事1 生涯学習講座実施報告

イ 議事2 学習プログラムについて

ウ その他

(4) 連絡

(5) 閉会

4 配付資料

資 料 1 : 特別支援学校広域同窓会連絡協議会委員名簿

資 料 2 : 「障害者の生涯学習」

～学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践～

資 料 3 : 障害者の生涯を通じた学びの充実のためのコンソーシアム

第2回会議 議事録

資 料 4 : 今後の講座に向けて(アンケート結果より)

資料 1

特別支援学校広域同窓会連絡協議会 委員名簿

No	氏 名	所 属 等
1	岡田 哲也	千葉県立特別支援学校流山高等学園 校長
2	佐藤 敦	千葉県障害者就業・生活支援センター ビック・ハート柏 主任
3	田中 均宜	千葉県立特別支援学校市川大野高等学園 校長
4	西村 拓士	千葉県障害者就業・生活支援センター いちされん センター長
5	向野 光	川村学園女子大学 教授
6	矢澤 昌視	市川市教育委員会生涯学習部社会教育課 主幹
7	渡邊 昌夫	千葉県立特別支援学校市川大野高等学園 初代校長

【五十音順 敬称略】

【資料2】 本冊子42～48ページ

障害者の生涯を通じた学びの充実のための
コンソーシアム 第2回会議 資料1 参照

【資料3】 本冊子52～62ページ 参照

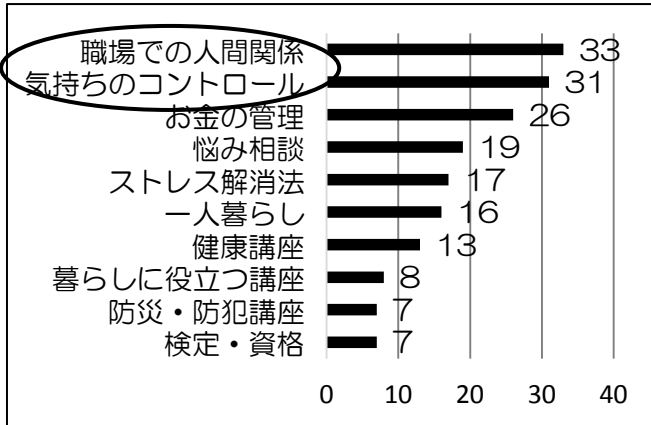
障害者の生涯を通じた学びの充実のための
コンソーシアム 第2回会議 会議録 参照

今後の講座に向けて（アンケート分析より）

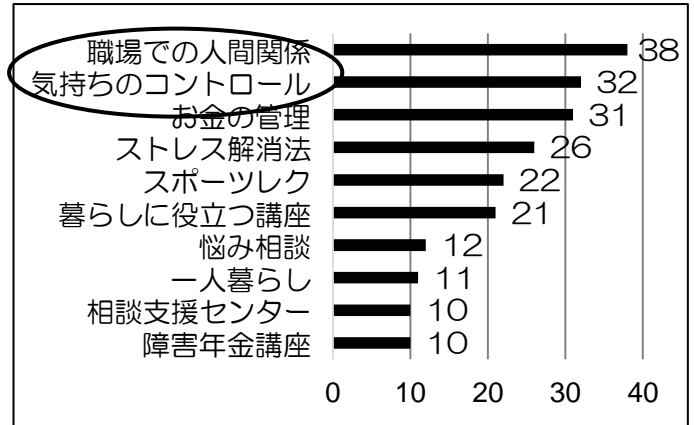
資料4

○障害のある方が職場で安定して働いたり、社会で自立して生活していったりするために、学校で学習プログラムを実施するとしたら、どのようなものがあたら良いと思いますか。＜4者比較＞

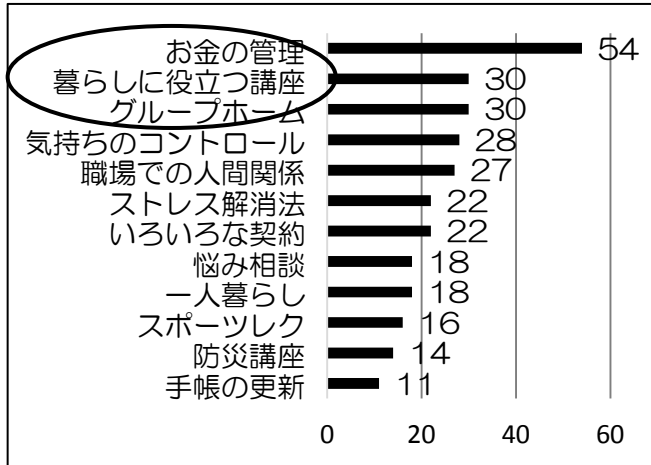
【企業】



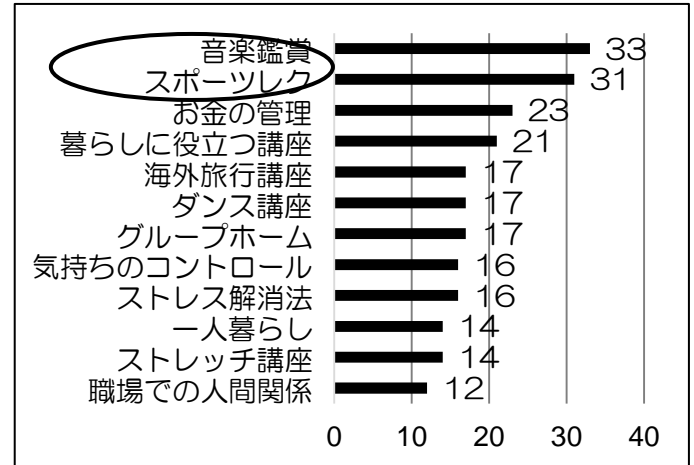
【本校教員】



【卒業生保護者】

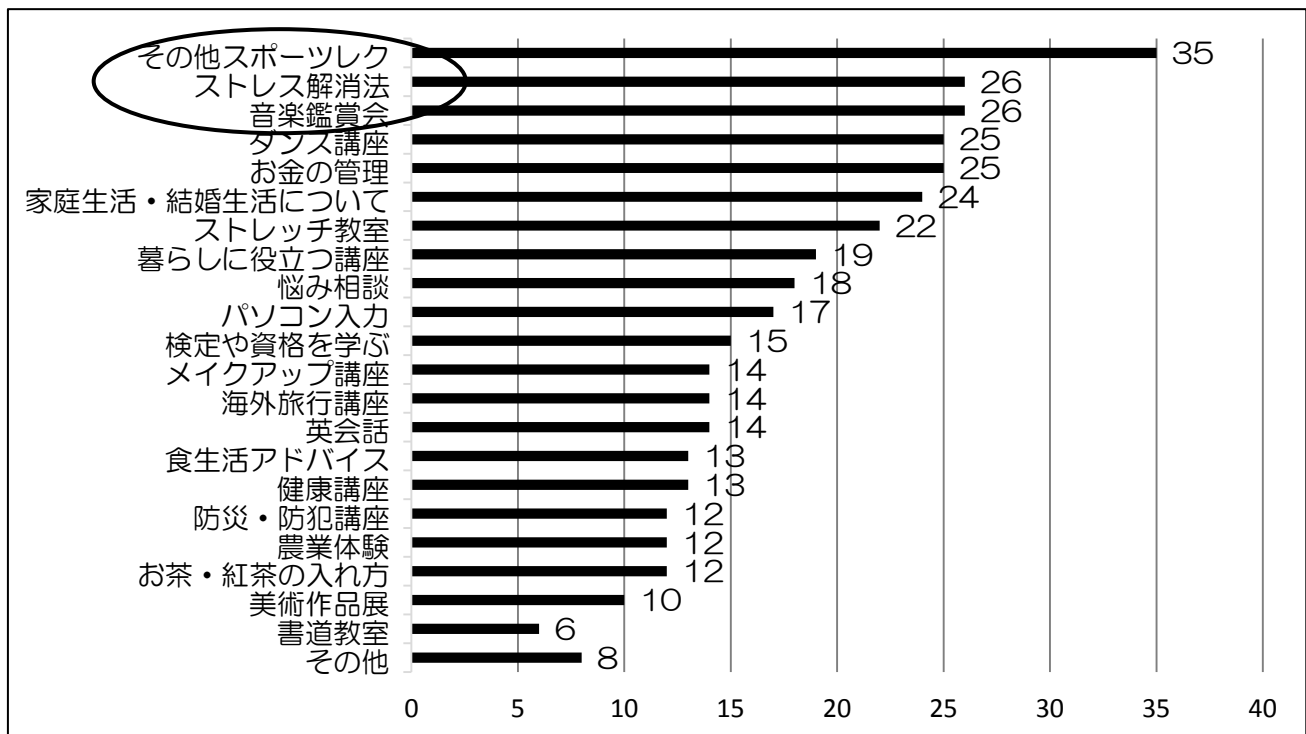


【卒業生】 ※2～4期生（卒業後3年以内）



【同窓会員】 ※1～4期生。

10月の講座の企画は同窓会員アンケートを参考に企画した。



○今後の生涯学習講座を考える上で、必要と思われるものについて

リフレッシュ

日頃の運動不足を解消し、仲間と交流することでリフレッシュを図り、心身ともに健康を維持する

スポーツ ダンス ストレッチ レクリエーション 等

ライフプラン

金銭管理の方法や、障害基礎年金の申請方法など、自分では難しいと思うことについて学習し、これからの人生のライフプランを考える。

生活設計 金銭管理 一人暮らし・グループホームの知識 障害基礎年金の手続き
結婚について 等

社会生活

社会人としての基本的なマナーや自立した生活に必要なことなどを学習する。
また、日々の人間関係をより良くするためのコミュニケーションに関することなどを学習する。

人間関係 男女の付き合い 生活習慣病予防 防犯防災 ストレスマネジメント
怒りのコントロール 海外旅行の行き方 お化粧 等

豊かな人生

余暇の充実や、自分自身のスキルアップについて。豊かな感性を育てたり、興味関心のあることを広げたり深める。

お茶・紅茶のたしなみ 芸術鑑賞 英会話 国際交流 絵画 パソコン 資格 等

その他、近隣の公民館や支援機関などで開催されている講座の情報を提供し、参加方法などの相談に乗っていきたいと考えている。

特別支援学校広域同窓会連絡協議会 第3回会議

1 日 時 平成30年12月20日（木） 午前10時から

2 場 所 千葉県立特別支援学校市川大野高等学園 応接室

3 次 第

(1) 開会

(2) 主催者挨拶

(3) 内容

ア 議事1 学習プログラムについて

イ 議事2 次年度に向けて

ウ その他

(4) 連絡

(5) 閉会

4 配付資料

資 料 1 : これまでの取組

資 料 2 : 学習プログラム

資 料 3 : 次年度に向けて

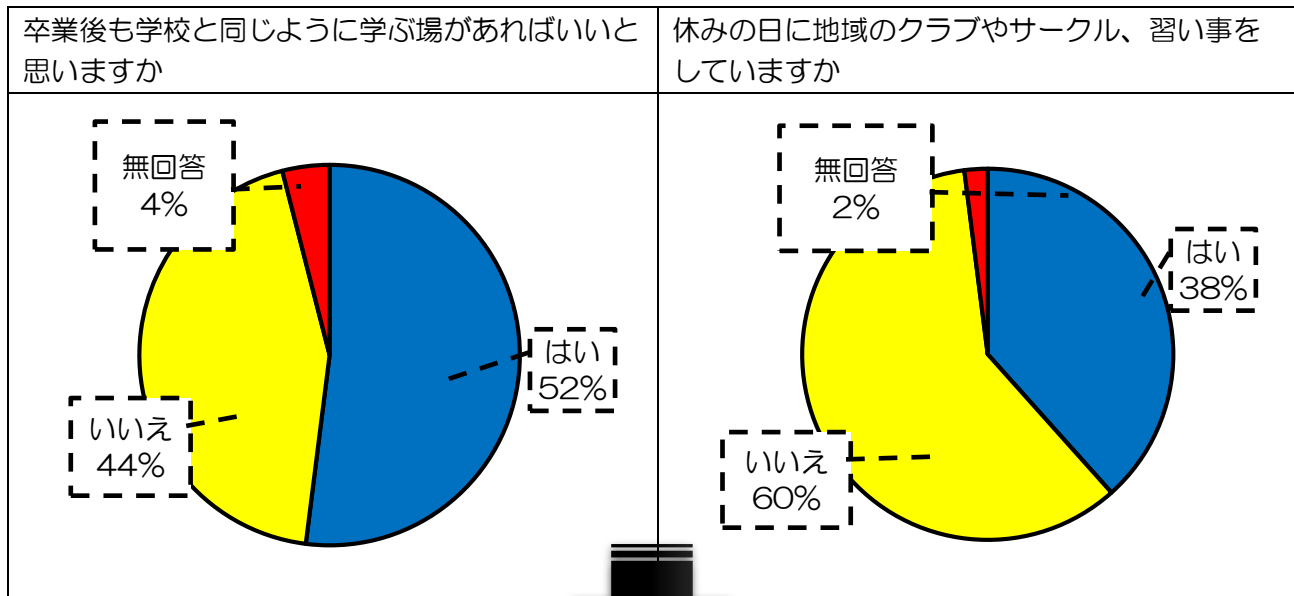
追加資料 : 同窓生アンケート集計結果

これまでの取組

1. アンケート調査の結果について

(1) 学校卒業後の学ぶ場について

【同窓会員アンケート 232名中99名回答（5月）】



学ぶ場のニーズは約半数

広域同窓会連絡協議会及びコンソーシアムより

- ・すでに地域のサークルや趣味を見つけて余暇を充実させている人も多いのではないか。
- ・必ずしも障害者の集まりだけでなく、障害のない人たちの中に一緒に入って活動することを楽しんでいる人もいる。
- ・どのようにしたら民間で開催しているものに参加できるかを一緒に考えていくのが良い。

意見を受けて

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・余暇を楽しんでいる一方で、きっかけがなく、活動することができていない人も多いのではないか。 ・特別支援学校（本校）を会場として実施する取組がきっかけとなり、視野が広がる卒業生もいるのではないか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・まずは、卒業生が「参加して良かった！」と思えるプログラムを実施する。 ・「楽しさ」だけでなく、さらに「学び」にもつなげていく取組を検討していく。 |
|---|--|



- ・既存の内容だけでなく、「本校ならではの内容」を検討する。
- ・地域に支えられている本校近隣の充実した地域資源の活用方法を一緒に考えていく。
- ・余暇を楽しみ、充実した生活を送っている卒業生の事例を集めて、情報を発信する。

(2) 卒業生・保護者・職員・企業のニーズの違いについて
今年度実施したアンケートでは、立場によるニーズの違いが見られた。

卒業生	保護者	企業・職員
スポーツ、ダンス、ストレッチ、ストレス解消	お金の管理、グループホーム、暮らしに役立つ講座	職場の人間関係、気持ちのコントロール、お金の管理



【分析】

卒業生	保護者	企業・職員
卒業後1～3年目の卒業生は、まだ若く、将来のことよりも交流を目的としたものを求めているのではないか。	将来のことを考えて、自立した生活に必要なことを学んでほしいと考えているのではないかな。	企業と職員は、長く働き続けるためには、就職後の人間関係の課題等を実感している人が多いのではないかな。



- 多様なニーズに応じられるよう、地域の講座とのすみわけを検討する。
- 卒業生のニーズが少なくても、企業や職員が必要と考える内容を実施する。
- 卒業生のニーズが少ない講座にも、参加者が集まるような工夫をする。

2. 「生涯学習講座」の実施と「生涯学習講座案内」について

広域同窓会連絡協議会及びコンソーシアムより

- 職員や企業が学習した方が良いと考えている内容が盛り込まれていない。
- 管内市町村で実施している障害者対象の生涯学習講座等も集めてメニュー化し、選択してもらえたら良い。



意見を受けて

- 地域で実施予定の講座について「生涯学習講座イベント案内」を作成
- 鶯翠祭で配付し、説明を行った

学習プログラム

1. 様々なニーズを考慮し、講座の内容について4つのタイプを検討した。

リフレッシュ	日頃の運動不足を解消し、仲間と交流することでリフレッシュを図り、心身ともに健康を維持することを目的とした内容。
ライフプラン	金銭管理の方法や、障害基礎年金の申請方法など、自分では難しいと思うことについて学習し、これからの人生のライフプランを考える内容。
社会生活	社会人としての基本的なマナーや自立した生活に向けて必要なこと、人間関係をより良くするためのコミュニケーションに関する内容。
豊かな人生	余暇の充実や、自分自身のスキルアップについて、豊かな感性を育てたり、興味関心のあることを広げたり深める内容。

広域同窓会連絡協議会及びコンソーシアムより

- ・第1回の生涯学習講座の内容は、本人と職員、保護者のニーズに乖離が見られる。
- ・職員や企業のニーズを反映させた講座を行うということであれば、特別支援学校で開催する意義があるように思う。
- ・学校でなければできない内容を選別して実施していく方がよい。

意見を受けて

- ・特別支援学校（本校）を会場とすることで、卒業生が集まりやすいのではないかな。
- ・「仲間や職員と会える」という動機で参加する卒業生も多くいるのではないかな。
- ・本校でのプログラムがきっかけとなり、地域のサークル等へつながる卒業生を増やしていきたい。

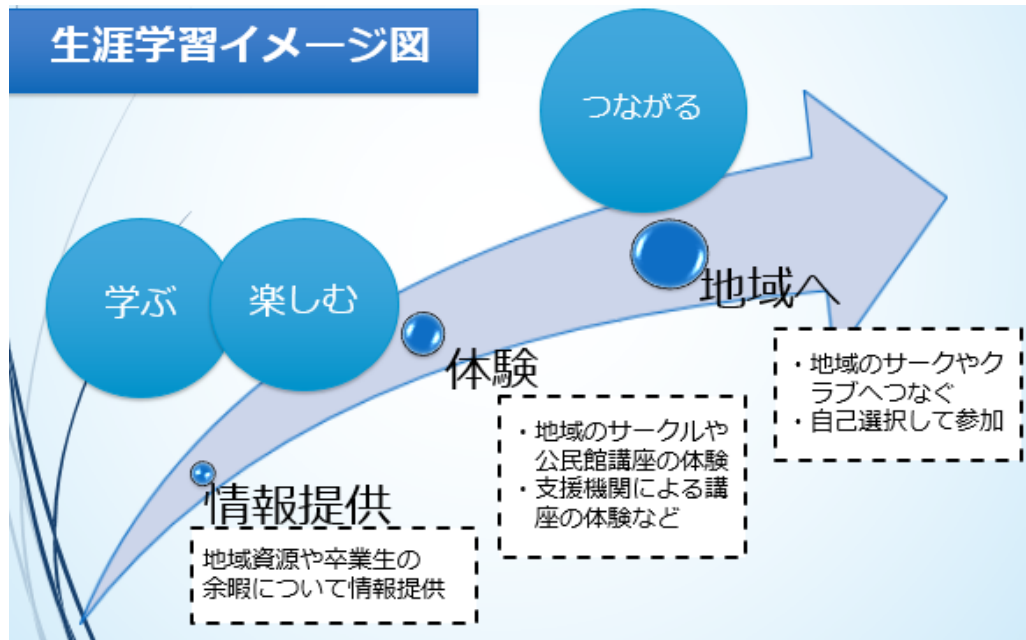
本校を会場としたプログラムの例

リフレッシュ	【スポーツ】 パラスポーツ（ボッチャ、フラインディスク、ゴールボール等）、マラソン、卓球、バドミントン、グラウンドゴルフ、テニス 等 【からだのこと】 ヨガ、リズム体操、肩こり腰痛対策、リトミック 等 【その他】 音楽鑑賞、悩み相談、写真、大人の塗り絵、旅行、アロマ 等
ライフプラン	【障害年金】 障害年金の概要、手続きの仕方、もらえる額と条件 等 【一人暮らし】 契約方法や家の探し方、費用、体験者の話、家事、体験 等 【グループホーム】 手続きの進め方、見学、入居者の話 等 【保険・契約】 必要な保険の種類、ローンについて 消費者相談 等
社会生活	【職場の人間関係】 相談の仕方、お酒のつき合い、人付き合いのマナー 等 【気持ちのコントロール】 アンガーマネジメント、相手の気持ちを知る 等 【健康講座】 成人病の予防、健康診断、睡眠、食事 等 【お金の管理】 クレジットカード、銀行口座の使い方、貯金、管理方法 等 【SNS/防犯】 携帯トラブル、犯罪事例、情報モラル、護身術、災害対策 等
豊かな人生	【音楽鑑賞】 ミュージカル、クラシック、太鼓、コンサート、楽器演奏 等 【海外旅行】 パスポートの取り方、ツアー、とっさの英会話、費用 等 【英会話】 役に立つ簡単なコミュニケーション、外国人との交流 等 【検定・趣味】 パソコン検定、紅茶、茶道、料理教室 等

次年度に向けて

資料3

「学ぶ」「楽しむ」「つながる」をキーワードに



1. 「学ぶ」「楽しむ」取組

社会生活	ライフプラン	リフレッシュ	豊かな人生
「学ぶ」講座		「楽しむ」講座	
<ul style="list-style-type: none"> ・パートナーシップ企業や大学との連携 ・「障害者就業・生活支援センター」をはじめとした支援機関との連携 		<ul style="list-style-type: none"> ・余暇を楽しむプログラムを仲間と学校で、そして、地域へ「つながる」取組へ 	

2. 「つながる」取組

地域の講座等への誘引（情報提供とコーディネート）

広域同窓会連絡協議会及びコンソーシアムより

- ・地域支資源の活用方法を一緒に考えていくことが必要
- ・どのようにしたら民間で開催しているものに参加できるかを一緒に考えていく。

意見を受けて

- ・公民館や自治会など、地域で実施されている生涯学習講座の情報収集をする。
- ・情報収集した内容を本校卒業生等に発信する。
- ・「はじめの一步」が踏み出せるように、利用方法についての相談にのったり、一緒に参加したりする。
- ・参加してみた感想を発信し、参加者の拡大を図る

生涯学習に関するアンケート 集計結果

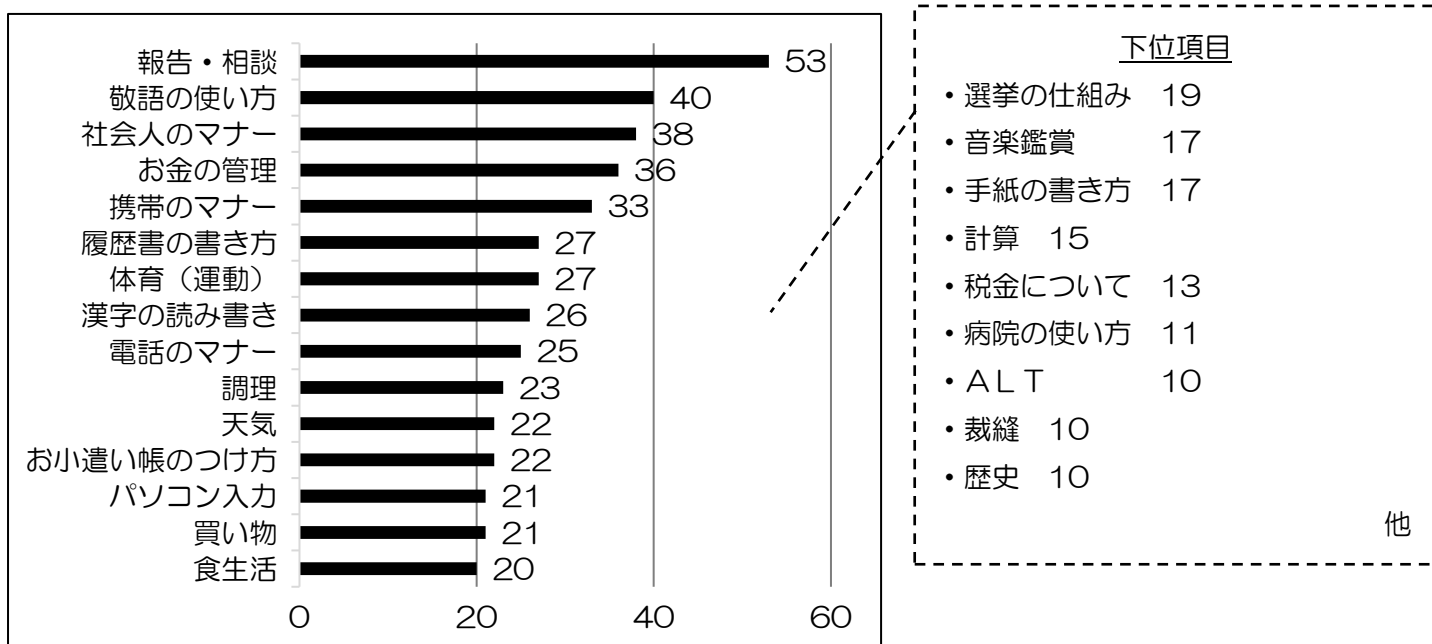
対象 同窓会員（一期生～四期生）

調査方法 郵送による質問紙調査

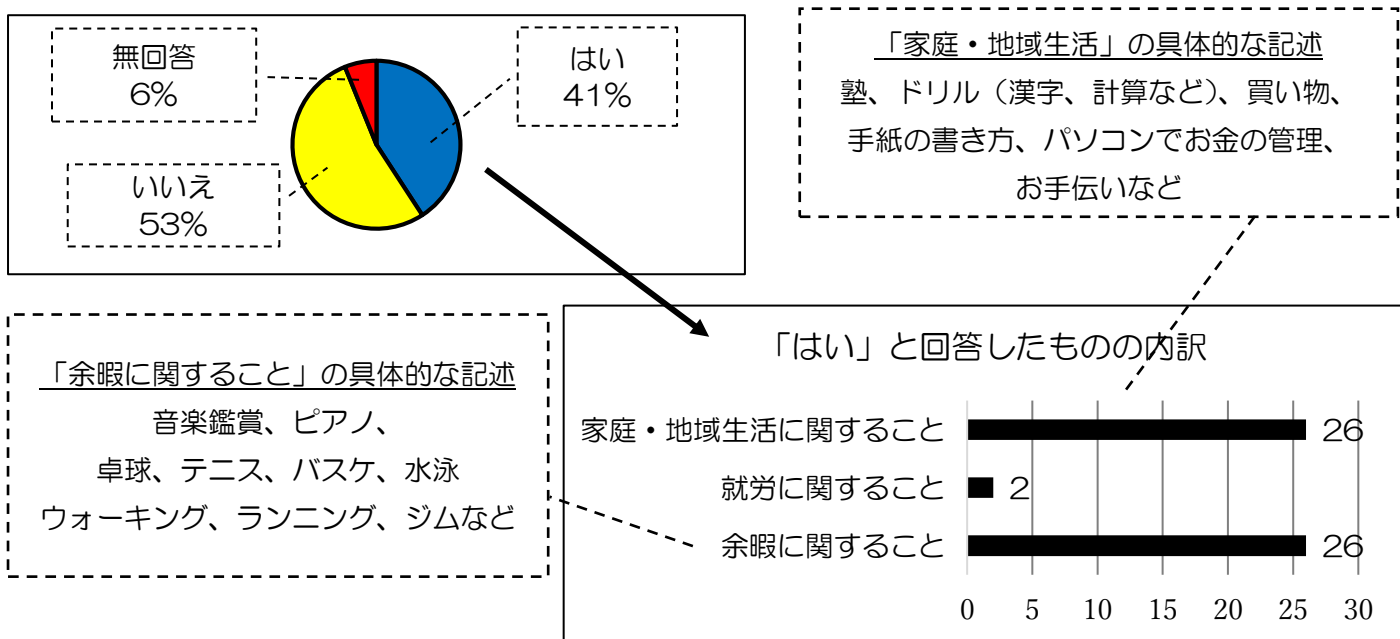
時期 平成30年5月

回答数 99

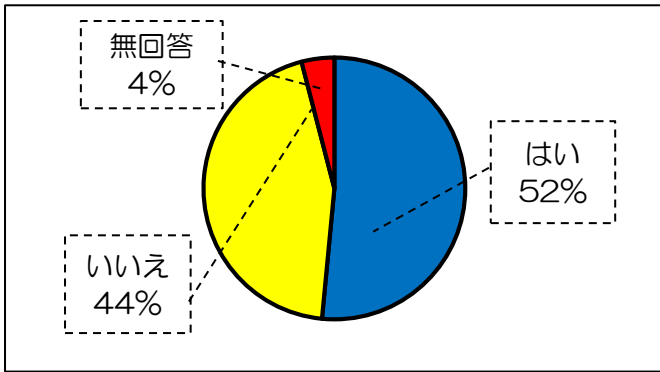
1. 在学中に学習したことで、卒業後の生活に役立ったと感じた学習内容はなんですか。（複数回答可）



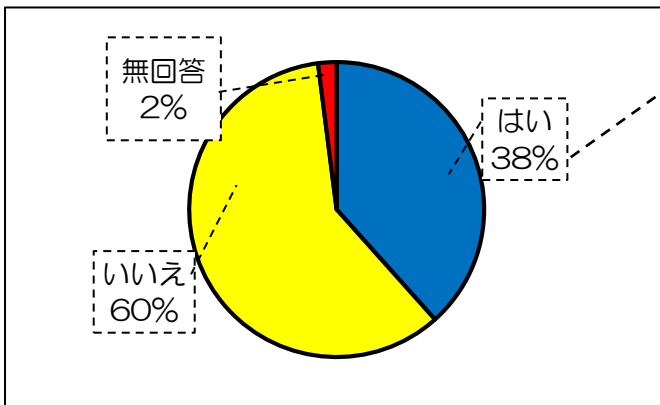
2. 卒業後も自分で継続して勉強していることはありますか。



3. 卒業後も学校と同じように学習する場所があればいいと思いますか。

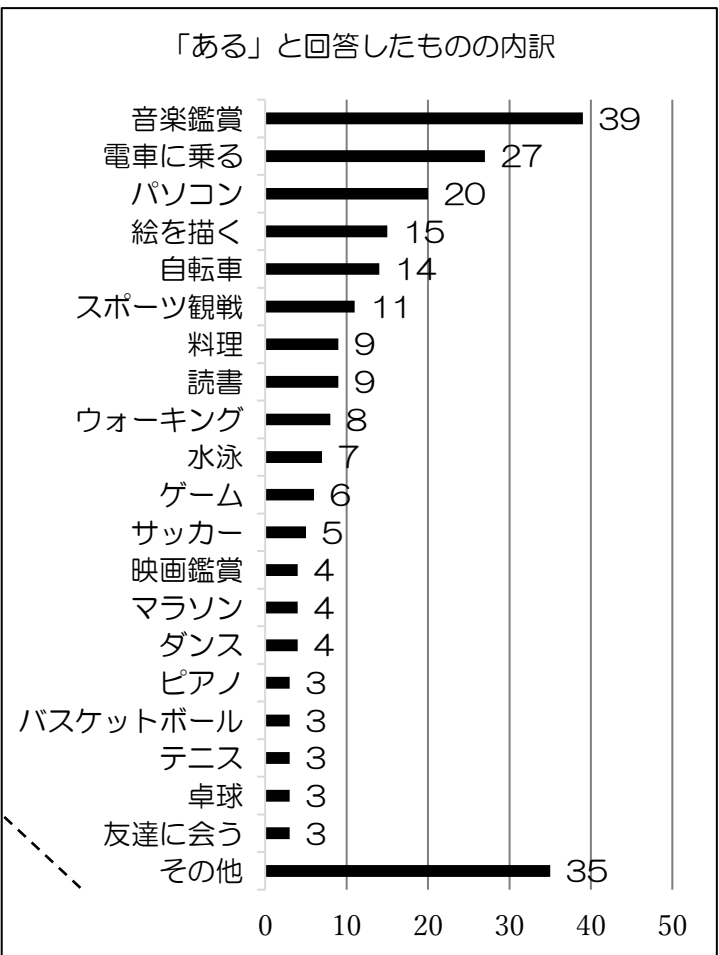
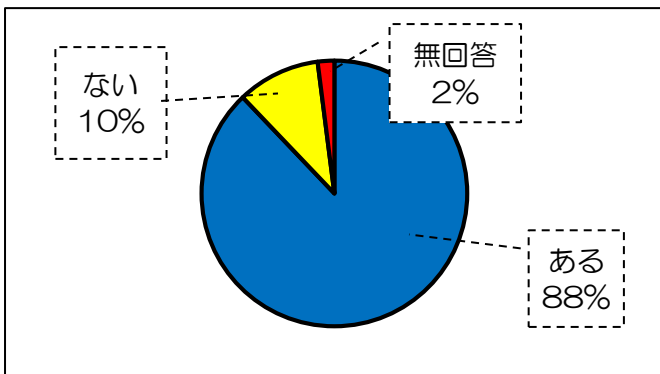


4. 現在、休みの日に地域のクラブやサークル、習い事などを行っていますか。



自由記入欄
卓球6、さくらんぼ教室5、サッカー4、ダンス4、バスケットボール3、楽器演奏2、テニス2、水泳1、フロアホッケー、習字、みなと青年クラブ、フラワーアレンジメント、ヨガ、ギター、塾、なかぼつセンターの余暇活動、パソコン、運転免許、陶芸、陸上ジム、バドミントン、英会話、希望の虹

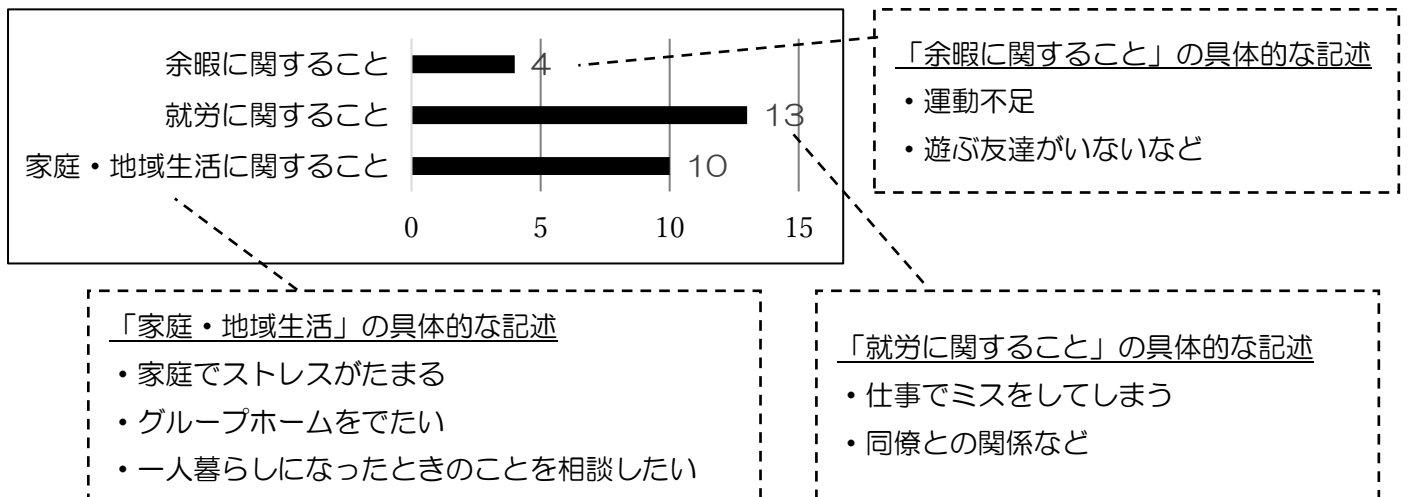
5. 現在休みの日などに、趣味としてやっていることはありますか



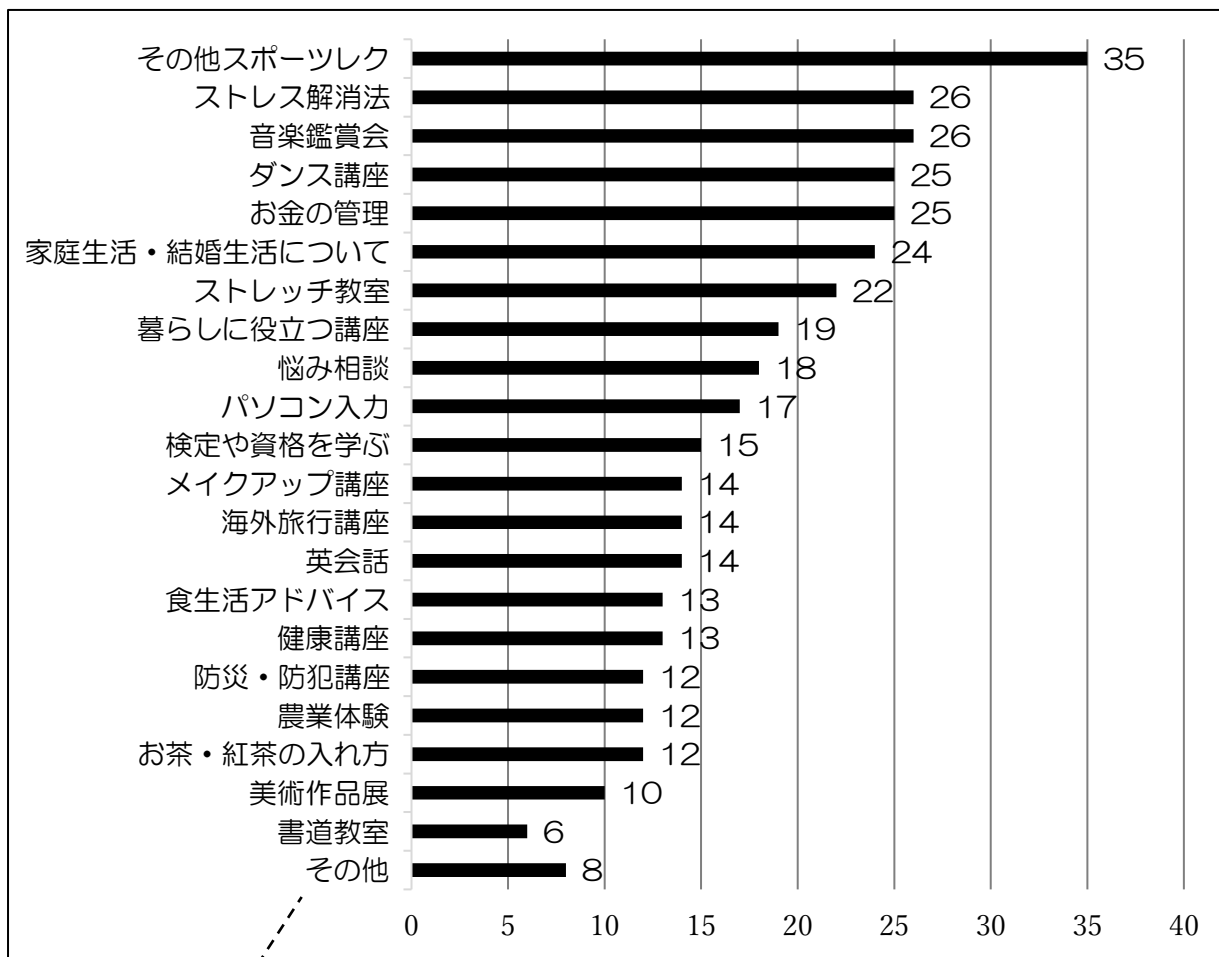
「その他」(回答が2名だったもの)
家の掃除、カラオケ、テレビ、楽器演奏、野球

「その他」(回答が1名だったもの)
お菓子作り、書道、ソフトボール、バドミントン、バレーボール、和太鼓、料理教室、ランニング、ライブ、物語を作る、プラモデル、ネット小説、テーマパーク、ショッピング、ジャニーズ、旅行、同窓会の役員活動、写経、刺し子、ゴルフ、ギター、観光、改造車、犬の散歩、家で寝る

6. 今、困っていること、不安なこと、悩みはありますか。



7. 今後、卒業生を対象にした講座を学校で行うとしたら、どのようなものがあったら参加してみたいですか。



「その他」の具体的な記述

改造車イベント、パーソナルカラー講座、野球
 ヨガ、和太鼓、年上の人とのかかわり方、バス旅行

学習プログラム開発 2

さわやかちば県民プラザにおける取組

さわやかちば県民プラザ「さわやか音楽隊ワークショップ」について

1 事業の概要

- (1) 対象 県内在住の知的障害のある方（今年度はさわやか青年教室受講生を中心に募集）
- (2) 実施回数 年間8回（10月から2月中旬）
- (3) 参加者数 15名
- (4) 講師 日本ヘルマンハーブ振興会
錦歌会（東葛文化祭出演者）

2 これまでの取り組み

- | | | |
|-------------|--------------------------|---|
| 第1回（10月14日） | 出会い・楽器紹介（スタッフ会議、指導者養成講習） | |
| 第2回（11月4日） | 出会い・楽器紹介（ | 〃 |
| 第3回（12月2日） | 楽器練習（ | 〃 |
| 第4回（12月8日） | アゴラ公開練習（ | 〃 |
| 第5回（1月13日） | コンサートプログラム決め | |
| | （ | 〃 |
| 第6回（2月10日） | コンサート通し練習 | |
| | （ | 〃 |
| 第7回（2月17日） | 午前：コンサート準備 | |
| | （ | 〃 |
| 第8回（2月17日） | 午後：コンサート本番 | |

3 各回のながれ

- 9：30 講師、スタッフ打ち合わせ
- 10：00 はじめの会 あいさつ
今日の活動の確認
連絡
- 10：10 ワークショップ開始（楽器練習）
- 11：30 おわりの会 講師の先生のお話
隊長、副隊長の話
次回の連絡
- 12：00～指導者養成講座
講師、スタッフ反省会議

※毎回「さわやか音楽隊つうしん」を配付。

※参加者の自主的な練習も行われた。

4 さわやか音楽隊サポーター

- ・東葛飾文化祭出演者
- ・「柏の葉吹奏楽団」音楽ワークショップ
- ・さわやか青年教室ボランティア
- ・地域の主婦の方など（施設利用者）
- ・保護者

5 参加者・ご家族の声

（1）参加者

- ・拍手をしてもらって嬉しい。
- ・たくさんの人に聴いてもらいたい。
- ・いろんな楽器や難しい曲もやってみたい。

（2）ご家族

ア 親として嬉しい

- ・作業所だけの毎日で、「学び」の場が少なく、楽しい体験ができる事は、親としてとても嬉しい。
- ・自分から進んで参加し、何より一生懸命なのが嬉しい。

イ 新しいことに挑戦できて、喜んでいる。

イ 生きがいや楽しみにつながっている

- ・職場以外での交流がないので、大きな生きがいになっている。
- ・本人ができる事への喜びを感じている。
- ・たくさんの刺激を受けられる。
- ・みんなで練習して発表する機会が出来て嬉しい。

ウ 今後も継続させたい

- ・楽器を弾くことは卒業後全くなかったが、本人の世界が広がっていくと思う。
- ・活動日を心待ちにしている。
- ・本人が続けたいと言っている。
- ・多くの人たちに聴いてもらえるように頑張らせたい。

エ その他

- ・音楽を楽しませたい。
- ・自主練習に行かせてみたい。
- ・新しいことにチャレンジするチャンスがあればうれしい。親としてボランティアにも参加したい。
- ・一生懸命に取り組む姿に感激した。
- ・活動回数をもっと増やしてほしい。

6 成果

(1) 活動とネットワークの広がり

- ・サポーターの増加（家族などにより倍増）
- ・ヘルマンハーブに加え大正琴へのチャレンジなど活動の広がり

(2) 参加者の自主性や仲間づくり

- ・話し合いの場（はじめの会、おわりの会は自分たちで）
- ・学びあいの姿勢（教えられるだけでなく、参加者同士でアドバイスしあうなど、お互いに学びあう）

(3) 学びや活動への新たな要求

- ・たくさんの方が、活動日以外にプラザに足を運んで、自主練習をするようになった。
- ・「もっとコンサートに出て、たくさんの人にきいてほしい」という声を受け、話し合いの結果コンサート出演決定

7 課題

- ・参加者の自主性の尊重
- ・家族の協力を得ること
- ・ボランティアの確保
- ・障害の程度や多様性に応じた配慮
- ・安定的、継続的な事業の提供

8 今後の展開～さわやかおんがく隊のさらなる挑戦～

- ・サービスを受ける側から与える側へ→高齢者施設等でのコンサートの実施
- ・家族や地域を巻き込む
- ・プラザはコーディネーターとして、参加者、スタッフ、ボランティア、学習資源を繋ぐ役割を担う
- ・企画運営の工夫（募集人数、形態、年齢制限、運営方法）
- ・受講者からサポーターへ

平成30年度 さわやかちば県民プラザ主催事業
「さわやかおんがく隊ワークショップ」実施要項

1 趣 旨

障害のある方でも演奏ができるように開発されたヘルマンハーブを用いた楽器演奏体験型の講座（音楽ワークショップ）を実施し、楽器演奏を通して文化芸術活動を行うことで、障害のある方々の人生をより豊かなものにするに資するとともに、人とのコミュニケーション能力や、物事をやり遂げる力を育成する。

2 主 催

さわやかちば県民プラザ

3 対象・定員

(1) 対象 県内各学校出身の知的障害のある方（18歳以上50歳未満）

(2) 定員 40名程度（ただし、楽器の台数が限られているため、演奏者は10名とする。その他の方は、合唱パートを担当する。）

4 日程及び内容

回	期 日	時 間	場 所	内 容	さわやか青年教室
1	10月14日（日）	14:00~15:00	フィットネススタジオ	練習	スポーツ教室
2	11月 4日（日）	14:00~15:00	フィットネススタジオ	練習	ハイキング
3	12月 2日（日）	14:00~15:00	フィットネススタジオ	練習	料理教室
4	12月 8日（土）	11:00~13:00	フィットネススタジオ アゴラ	公開練習 (特支展フェア期間)	
5	1月13日（日）	10:00~12:00	フィットネススタジオ	練習	
6	2月10日（日）	14:00~15:00	フィットネススタジオ	練習	お別れレクリエーション大会 閉講式
7	2月17日（日）	10:00~11:20	多目的室	練習・リハーサル	
8	2月17日（日）	12:20~13:00	アゴラ	コンサート	

*さわやか青年教室受講生については、7月15日（日）の第2回さわやか青年教室で、参加者に周知。

5 経 費

参加費無料

6 申込方法

(1) 参加申込確認書に必要事項「参加者氏名・性別・年齢・住所・緊急連絡先・保護者名」を記入して申し込む。

(2) 申込期限は、平成30年8月26日（日）必着。

(3) 活動に対して配慮を必要とする場合は事前に相談する。

平成30年7月15日

さわやか青年教室受講生のみなさんへ

さわやかちば県民プラザ事業振興課

「さわやかおんがく隊ワークショップ」への参加について

この度、下記のとおり「さわやかおんがく隊ワークショップ」を実施します。この事業では、専門的な講師をお招きし、だれにでも簡単にできる「ヘルマンハーブ」の演奏を楽しみ、音楽を通して仲間とかかわりながら、みなさんの生活をより豊かなものにするを目的とします。最終回の2月17日には、ワークショップの成果を発揮する場として、コンサートを実施します。

記

1 日時・場所

回	期日	時間	場所	内容	さわやか青年教室
1	10月14日(日)	14:00~15:00	フィットネススタジオ	練習	スポーツ教室
2	11月4日(日)	14:00~15:00	フィットネススタジオ	練習	ハイキング
3	12月2日(日)	14:00~15:00	フィットネススタジオ	練習	料理教室
4	12月8日(土)	11:00~13:00	フィットネススタジオ アゴラ	公開練習	*活動はありません
5	1月13日(日)	10:00~12:00	フィットネススタジオ	練習	*活動はありません
6	2月10日(日)	14:00~15:00	フィットネススタジオ	練習	お別れレクリエーション大会 閉講式
7	2月17日(日)	10:00~11:20	多目的室	コンサートリハーサル	*活動はありません
8		12:20~13:00	アゴラ	コンサート	

2 内容

講師の先生の指導のもと、ヘルマンハーブの演奏を練習します。練習の成果を

発揮する場として、2月にミニコンサートをを行います。

*楽器の個数が限られているため、参加者が多い場合は、ヘルマンハーブ演奏だけでなく、合唱パートの練習もを行います。

*参加者には、詳しいプリントを渡します。

3 参加費

無料

4 対象・定員

(1) 対象 県内各学校出身の知的障害のある方（18歳以上50歳未満）無料

(2) 定員 40名程度（ただし、楽器の台数が限られているため、演奏者は10名とします。その他の方は、合唱パートを担当します。）

5 参加申込の確認

参加・不参加に関係なく、次回のさわやか青年教室【8月26日（日）】に確認書

をプラザ職員まで提出してください。

6 連絡・お問い合わせ

さわやかちば県民プラザ 事業 振興課 佐々木 正子

電話：04（7140）8611 FAX：04（7140）8601

さんかもうしこみ かくにんしよ
参加申込 確認書

「さわやかおんがく隊ワークショップ」に

さんか
参加します

さんか
参加しません

(どちらかを○で囲んでください。)

じゅこうせいしめい
受講生氏名

せいべつ () ねんれい (さい)
性別 () 年齢 (歳)

じゅうしょ
住所

きんきゅうれんらくさき (じたく けいたい) — —
緊急連絡先 (自宅・携帯) — —

ほごしゃしめい
保護者氏名

じゅこうせい かんけい ちち はは た
受講生との関係 父・母・その他 ()

だい3かい せいねんきょうしつ 8がつ26にち にち じさん
*第3回さわやか青年教室【8月26日(日)】に持参してください。



♪さわやかおんがく隊♪ ワークショップ

“さわやかおんがく^{たい}隊”は、^{しょうがい}障害のある人たちが^{ひと}集い、^{つど}音楽を通じて、^{こころ}心のつながりや^い生きがいをもち、
^{ゆた}豊かな^{せいかつ}生活を^{はぐく}育むことを^{もくてき}目的としています。



このワークショップでは、
ヘルマンハーブなどの^{がっきえんそう}楽器演奏や
^{がっしょう}合唱など、^{さまざま}様々な^{おんがく}音楽を
仲間と一緒に^{なかつどう}楽しみながら活動します。

*ヘルマンハーブは、^{ごせんぷ}五線譜が^{にがて}苦手な人でも^{ひと}手軽に^{てがる}演奏できる^{えんそう}楽器です。^{がっき}

- ♪ 主催：さわやかちば県民プラザ
- ♪ 対象：県内にお住まいの知的障害のある方
(18歳以上50歳未満)
- ♪ 定員：40名程度 ♪ 費用：無料
- ♪ 活動予定

ワークショップの成果の
発表の場として、最終回の
2月17日(日)に
コンサートを開催します！



	月日	時間	場所		月日	時間	場所
1	10/14(日)	14:00~15:00	多目的研修室2	5	1/13(日)	10:00~12:00	多目的研修室2
2	11/4(日)	14:00~15:00	多目的研修室1	6	2/10(日)	14:00~15:00	多目的研修室1
3	12/2(日)	14:00~15:00	多目的研修室3	7	2/17(日)	10:00~11:20	多目的研修室3
4	12/8(土)	11:00~13:00	多目的研修室2			12:20~13:00	アゴラ



一緒に音楽を楽しみませんか？

ボランティア募集!

「さわやかおんがく隊ワークショップ」で一緒に活動するボランティアスタッフを募集します。

高校生からシニアの方まで、音楽好きの方、ボランティアに興味のある方、初めての方、どなたでも大歓迎!

さわやかおんがく隊のメンバーとともに、音楽を楽しみましょう!!

“さわやかおんがく隊”は、障害のある人たちが集い、音楽活動を通じて、心のつながりや生きがいをもち、豊かな生活を育むことを目的としています。

さわやかおんがく隊ワークショップでは、楽器演奏(ヘルマンハーブ、大正琴など)や合唱など、様々な音楽を仲間と一緒に楽しみながら活動します。

* ヘルマンハーブは、楽譜を読むことが苦手な方でも手軽に演奏できる楽器です。

- 募集対象** 高校生以上の県内にお住まいの方
- 活動内容** さわやかおんがく隊楽器演奏のサポート、指導補助、会場準備など
*ご自分の都合に合わせて、参加してください。
- 申し込み** 随時受付しています。
ボランティアを希望される方は、「Web」「FAX」「電話」「来所」のいずれかの方法でお申し込みください。
* Web : 県民プラザHP「講座・イベント情報」
→「さわやかおんがく隊ボランティア」→「詳細表示」
→「Web申込」にて、必要事項を入力してください。

ワークショップの成果の発表の場として、アゴラで2月17日(日)にコンサートを開催します!

活動日時

	月日	時間	場所		月日	時間	場所
1	10/14(日)	14:00~15:00	多目的研修室2	5	1/13(日)	10:00~12:00	多目的研修室2
2	11/4(日)	14:00~15:00	多目的研修室1	6	2/10(日)	14:00~15:00	多目的研修室1
3	12/2(日)	14:00~15:00	多目的研修室3	7	2/17(日)	10:00~11:20	多目的研修室3
4	12/8(土)	11:00~13:00	多目的研修室2			12:20~13:00	アゴラ

問合せ：さわやかちば県民プラザ(事業振興課)

TEL 04-7140-8615

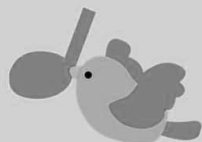
♪ 2月のアゴラマンスリーコンサート ♪



みんな一緒に音楽を楽しもう！
～ 優しさを音にのせて ～



さわやかおんがく隊 ♪ コンサート ♪



さわやかおんがく隊は、障害のある人たちが集い、
音楽を通して心のつながりや生きがいを持ち、
豊かな生活を育むことを目的として結成しました。
コンサートでは、半年間の練習の成果を心を込めてお届けします。



プログラム

ヘルマンハーブ・大正琴演奏・合唱 など



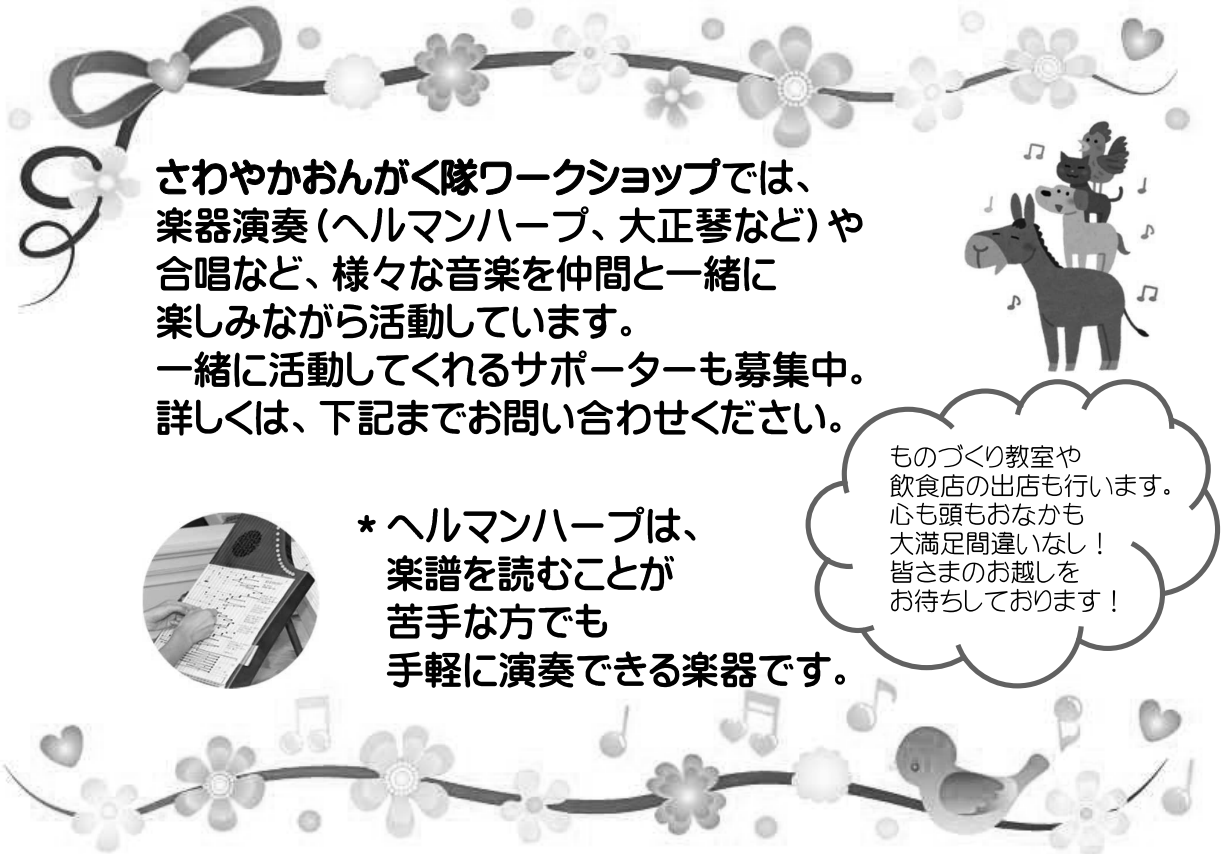
2019年
2月17日(日)

**12時20分から
13時まで**

さわやかちば県民プラザ・アゴラ

入場無料





さわやかおんがく隊ワークショップでは、
楽器演奏(ヘルマンハーブ、大正琴など)や
合唱など、様々な音楽を仲間と一緒に
楽しみながら活動しています。
一緒に活動してくれるサポーターも募集中。
詳しくは、下記までお問い合わせください。



ものづくり教室や
飲食店の出店も行います。
心も頭もおなかも
大満足間違いなし！
皆さまのお越しを
お待ちしております！



* ヘルマンハーブは、
楽譜を読むことが
苦手な方でも
手軽に演奏できる楽器です。

【最寄駅からバスでの行き方】

最寄駅	バス会社	乗り場・ゆき	最寄バス停 (乗車時間)	プラザ まで
柏駅 (JR常磐線 東武アーバンパークライン)	東武バス	西口バスターミナル2番乗り場 (西柏01系統)「県民プラザ」ゆき または「県民プラザ経由国立がん研究センター」ゆき	県民プラザ (約20分)	徒歩 約1分
江戸川台駅 (東武アーバンパークライン)	東武バス	東口バスターミナル(西柏04系統) 「国立がん研究センター経由柏の葉キャンパス駅西口」	駒木台北 (約10分)	徒歩 約5分
		東口バスターミナル(西柏10系統) 「みどり台経由柏の葉キャンパス駅西口」ゆき	東大西門前 (約15分)	徒歩 約5分
柏の葉キャンパス駅 (つくばエクスプレス)	東武バス	西口バスターミナル(西柏03系統) 「流山おおたかの森駅東口」ゆき	県民プラザ (約15分)	徒歩 約1分
		西口バスターミナル(西柏04系統) 「江戸川台駅東口」ゆき	東大西 (約10分)	徒歩 約5分
流山おおたかの森駅 (東武アーバンパークライン つくばエクスプレス)	東武バス	東口バスターミナル(西柏03系統) 「柏の葉キャンパス駅西口」ゆき	県民プラザ (約20分)	徒歩 約1分
	流山 グリーンバス	西口バスターミナル 美田・駒木台ルート	県民プラザ前 (時計回り 約11分) (反時計回り 約16分)	徒歩 約2分



【車で来所の方】

国道16号「十倉二工業団地入口交差点」
から約5分(約2.5km)
国道16号「呼塚」交差点から約20分(約7km)
*駐車場283台(最初の1時間無料、
以後1時間毎に100円 (大型車300円))

【問い合わせ】

さわやかちば県民プラザ
事業振興課

〒277-0882 柏市柏の葉 4-3-1
TEL 04-7140-8615

URL <https://www.skplaza.pref.chiba.lg.jp/>



さわやかおんがく隊つうしん

第1号 12/2

さわやかちば県民プラザ 事業振興課
さわやかおんがく隊担当：佐々木正子

“さわやかおんがく隊”は、障害のある人たちが集い、音楽を通じて、心のつながりや生きがいを持ち、豊かな生活を育むことを目的として、10月から活動を始めました。

毎回、『さわやか青年教室』終了後、講師の先生をお招きして、ヘルマンハーブや大正琴の練習に励んできました。練習は、音楽隊隊長の阿部さん、副隊長の御給ごまぎゅうさんを中心に、みんなで楽しく行っています。高校生や近隣にお住いの主婦の方、特別支援学校の先生方など、たくさんの方々が支援者として一緒に活動してくれています。さわやかおんがく隊のみなさん（＝隊員さん）は、音楽が大好きな方ばかりで、練習を重ねるごとに、どんどん上達しています。

次の練習（12月8日土曜日）では、さわやかおんがく隊の活動をもっとたくさんの方々に知ってもらおうと、県民プラザの1階アゴラで公開練習を行います。隊員のみなさんの楽しそうな活動の様子や、生き生きとした表情はもちろん、ヘルマンハーブの美しい音色を堪能していただける貴重な機会になると思います。まだまだ練習半ばで失敗もあるかと思いますが、2月のコンサートに向けて一生懸命頑張る音楽隊のみなさんの活動をぜひご覧いただければ幸いです。

さわやかおんがく隊隊員一同、みなさまのお越しをお待ちしております！



<次回の活動>

日時：12月8日土曜日 午前11時～午後1時まで

場所：多目的室2に集合。

「はじめの会」が終わったら、アゴラで練習します。

持ち物：配付された資料や楽譜

＊お弁当（練習後、昼食を食べて帰る人は持ってきてください。）

その他：自主練習をしたい方は、いつでもお気軽にご連絡ください！

さわやかちば県民プラザ 担当：佐々木（04-7140-8615）



さわやかおんがく隊つうしん

第2号 12/8

さわやかちば県民プラザ 事業振興課
さわやかおんがく隊担当：佐々木正子

“さわやかおんがく隊”ワークショップは、たくさんの指導者の方々に支えられ活動しています。

ヘルマンハーブは、『日本ヘルマンハーブ振興会』会長の梶原先生をはじめ、振興会の講師の方々が東京から来て、基礎から楽しく教えてくださっています。また、大正琴は、『錦歌会』の渡辺先生、神崎先生、山田先生が丁寧にご指導してくださっています。

前回まで3回のワークショップを終え、すっかり楽器にも慣れ、みなさんとても上手に演奏ができるようになりました。活動日以外にも、自主練習をしにプラザに来る方もいらっしゃいます。阿部隊長は、これまで何度も自主練習にいらっしゃいました。宇佐美さんは、夜お母さんと一緒に練習されています。みなさんの演奏技術がどんどん向上していて、講師の先生方もとても驚いています。しかし、コンサートはおんがく隊全体で“合奏”をしなければなりません。みんなで力を合わせて、音楽を奏でることがこれからの課題です。“心を一つ”にして、素敵な演奏ができるようこれからも頑張りましょう！

次のおんがく隊の活動は、年明けの1月13日（日）。1ヶ月以上活動がありませんので、時間があればぜひ自主練習に来てください。ご家族やお友達と一緒にOK！担当の佐々木までご連絡ください。

それでは、次にお会いできる日まで、寒い日が続きますので、どうぞお健やかに過ごしてください。

前回のワークショップは、^{ごきゅう}御給さんが
全体に指示を出してまとめてくださいました。
^{ごきゅう}御給副隊長、ありがとうございました！



<次回の活動>

日時：1月13日 日曜日 午前10時～正午 まで

場所：多目的室2に集合。

持ち物：配付された資料や楽譜

＊お弁当（練習後、昼食を食べて帰る人は持ってきてください。）

その他：自主練習をしたい方は、いつでもお気軽にご連絡ください！

さわやかちば県民プラザ 担当：佐々木（04-7140-8615）





さわやかおんがく隊つうしん

第3号 1/13

さわやかちば県民プラザ 事業振興課
さわやかおんがく隊担当：佐々木正子

さわやかおんがく隊のみなさん、そして保護者の皆様、あけましておめでとうございます。本年も、どうぞよろしくお願ひします。

さて、いよいよコンサートが来月に迫ってきました。みなさん、準備は進んでいますか？

前回12月8日のワークショップでは、来月のコンサートの予行練習として、アゴラでヘルマンハーブの公開練習を行いました。県民プラザを象徴する場所である「アゴラ」は、3階までの吹き抜けがとても気持ちいい大きなロビー。その場所で、来月はたくさんのお客様を前にして、コンサートを行います。前回の公開練習では、通りすがりのたくさんの方々が、足をとめて、みなさんの演奏に聞き入っていらっしやいました。コンサートではぜひ、ご家族やお友達に声をかけて、たくさんの方々におんがく隊の演奏を聴いてもらいましょう。失敗しても大丈夫。とにかく、みなさんの優しさが伝わるように、心を込めて演奏しましょうね。

次のおんがく隊の活動は、2月10日（日）。最後のさわやか青年教室の後に行います。コンサートまで、練習時間も少なくなってきましたので、お時間があればぜひ自主練習に来てください。ご家族やお友達と一緒にOK！担当の佐々木までご連絡ください。

それでは、次回の活動日まで風邪やインフルエンザには十分に気をつけて、お健やかに過ごしてください。



<次回の活動>

日時：2月10日 日曜日 午後2時～3時半 まで

場所：多目的室2に集合。

持ち物：配付された資料や楽譜

その他：自主練習をしたい方は、いつでもお気軽にご連絡ください！

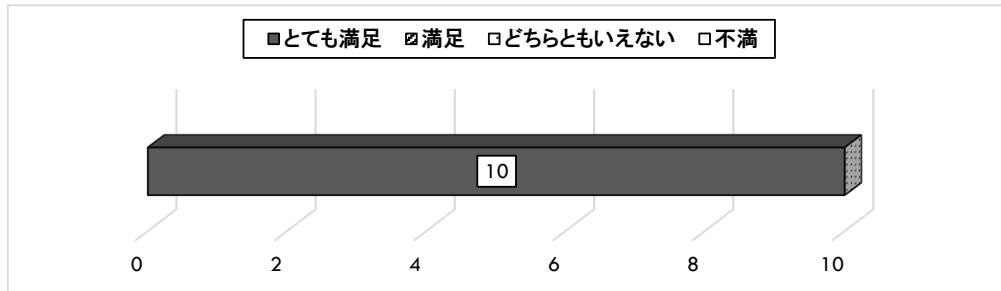
さわやかちば県民プラザ 担当：佐々木（04-7140-8615）



さわやかおんがく隊アンケート集計結果

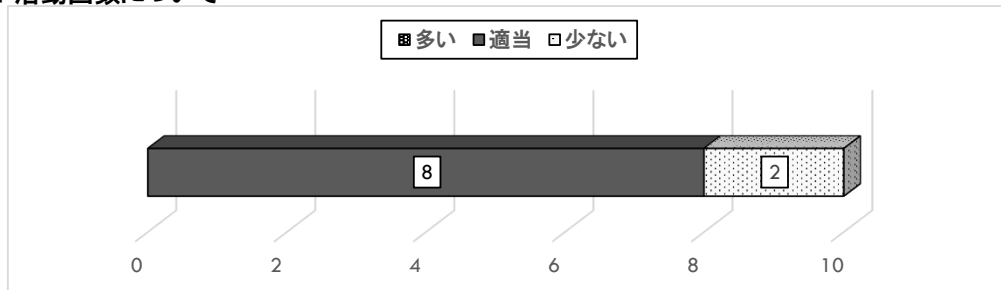
参加者 14名
アンケート回収 10人 *回収率71%

1 さわやかおんがく隊に参加させた感想



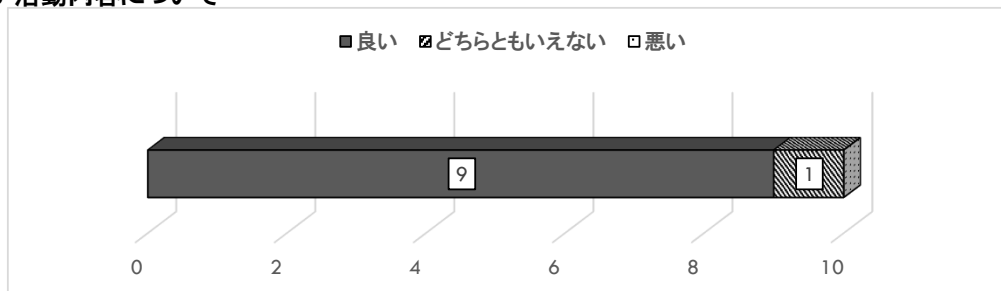
- ・ ゆっくりで時間はかかるが、本人ができる事への喜びを感じている。
- ・ 作業所だけの毎日で、「学び」の場が少なく、楽しい体験ができる事は、親としてとてもうれしい。
- ・ 普段音楽に親しむことがないので、新しいことに挑戦できて喜んでいる。
- ・ 発表をととても楽しみにしている。

2 活動回数について



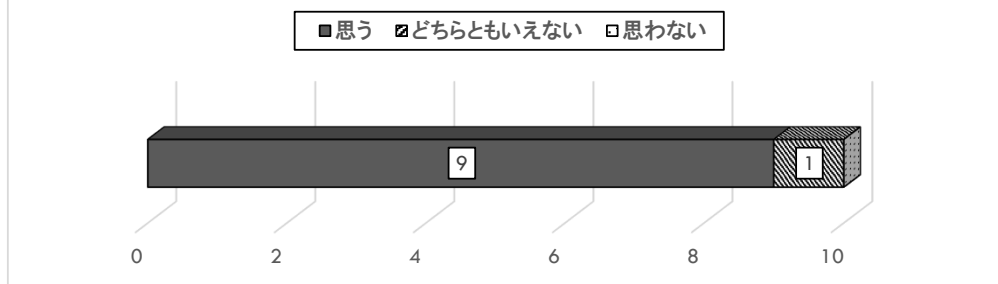
- ・ もう少し回数が多い方が覚えやすいのではないか。
- ・ 行動の変化に適応するのが難しいので、現状維持が有難い。
- ・ 半年に1回くらいの発表会。月1回の練習がちょうどよい。
- ・ 送迎しているなので、回数としてはちょうどよいと思う。

3 活動内容について



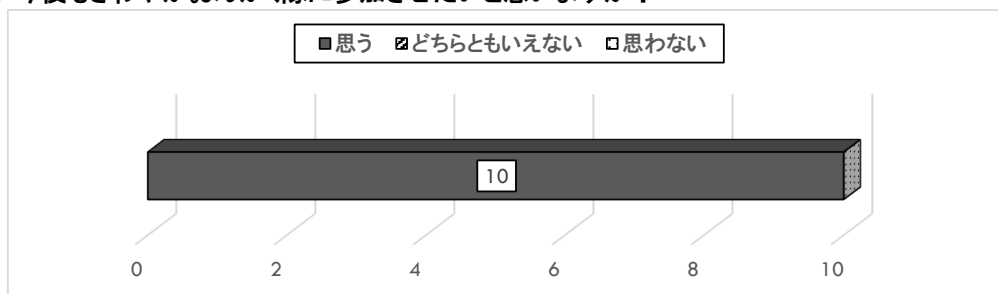
- ・ 本人が心から楽しんでおり、素晴らしい活動で感謝している。
- ・ 毎回たくさんのスタッフの方が関わってくださり、感謝している。
- ・ 一緒に参加し、きれいな音色に癒されている。
- ・ 楽しい。
- ・ 新しい学習が楽しみ。
- ・ 参加者が良い表情だったので、無理なく楽しめていると思う。

4 さわやかおんがく隊の活動が、お子様の生きがいや楽しみにつながっていると思いますか？



- ・学校を卒業してから、みんなで練習しての発表の機会が全くなくなってしまったので。
- ・思うようにできない子だが、自分から進んで出て、何より一生懸命で驚いている。
- ・たくさんの刺激を売場があり、スタッフが充実しているので、安心して通わせられる。
- ・職場以外での交流がないので、大きな生きがいになっている。

5 今後もさわやかおんがく隊に参加させたいと思いますか？



- ・音楽が大好きなので、本人が強く希望している。
- ・楽器を弾くことは、卒業後全くなかったが、本人の世界が広がっていくと思うので今後も継続させたい。
- ・本人が喜んでいるので、継続させたい。
- ・本人が続けたいと言っているので、応援したい。